

最近の歯冠修復材料と接着システムを探る！



二瓶 智太郎

補綴科・接着器材診療部門 教授

歯科医療はこの20年でデジタルの発展に伴い、CAD/CAMシステムによるジルコニア材の歯冠修復装置をはじめ、ハイブリッドタイプやPEEK（ポリエーテルエーテルケトン）材のレジンブロックも保険収載され、メタルフリーとなる様々な歯冠修復材料を用いることが可能となっています。2024年6月の診療報酬改定では、エンドクラウンや口腔内スキャナーによるCAD/CAM レジンインレーの治療も可能となり、本年6月の改定では支台歯の口腔内スキャナー、さらには期中導入でCAD/CAMブリッジも保険収載され、デジタル技術が歯科診療に取り込まれています。

本講演では、様々な歯冠修復材料の理工学的性質と接着システムについて整理してみたいと思います。

【略歴】

1991年 3月	神奈川歯科大学歯学部卒業
1991年 4月	同大学保存学教室修復学講座入局（助手）
2001年 4月	同大学附属病院インプラント科兼任
2003年 9月	博士（歯学）取得（神奈川歯科大学乙第375号）
2005年 9月	LMU of München 長期海外研究派遣員
2017年 4月	同大学クリニカル・バイオマテリアル学分野 教授
2018年 10月	関東学院大学材料・表面工学研究所 客員教授
2023年 4月	神奈川歯科大学 副学長
2024年 4月	同大学附属病院補綴科・接着器材診療部門 教授

* 主な所属学会

- ・日本歯科医学会 理事
- ・一般社団法人日本歯科理工学会 常任理事・代議員・Dental Materials Senior Adviser
- ・一般社団法人日本接着歯学会 理事・専門医・指導医・研修施設長
- ・特定非営利活動法人日本歯科保存学会 代議員・専門医・指導医
- ・一般社団法人日本デジタル歯科学会 代議員
- ・神奈川歯科大学学会 副会長（研修担当）